女性から選ばれる長野県を目指すリーダーの会

趣 意 書

人々のライフスタイルや価値観が多様化する中で、誰もが地域や企業等において個性や能力を発揮し、自分らしく生きられる社会の実現が求められています。

長野県では、20歳代の女性の人口が男性に比べて特に少なくなっており、固定的性別役割分担意識が根強く残る状況において、女性の職業生活では、出産・育児等によるキャリアの断絶や管理職に占める割合の低さなど、依然として多くの課題があります。

こうした課題を解消し、女性が自分らしく暮らし、働き続けることのできる環境を整え、女性から選ばれる魅力ある長野県にしていくことが重要です。

そのため、県内企業・法人、自治体のリーダー自らが、SDGsに掲げるジェンダー平等の実現も視野に入れながら、女性の職業生活における活躍の推進に意欲的に取り組むべく、集い、情報や課題を共有して、更なる行動につなげるようにしたいと考えています。

あわせて、こうした取組を発信し、広く県内のリーダーの意識改革、行動変容の契機とするため、本会を発足させることとしました。

この趣旨に賛同するリーダーの皆様にご参加いただければ幸いです。

《目指す姿》

リーダーとして、働く女性が自分らしく職業生活を送れる社会を目指し、

- 自らが行動変容につながる意識改革を行っている。
- 自らが組織における方針を示した上で、推進体制を整え、具体的な制度・施策を実行するとともに、その評価を行い、改善につなげている。

(具体的な制度・施策の例)

- ・就業継続、非正社員から正社員への転換、管理職への育成・登用など、女性の多様なキャリアコースを設定
- ・労働時間の適正化、男性の育児休業取得の促進など、家庭と仕事の両立を支援

令和5年7月7日

発起人 (内閣府「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」メンバー)

長野県知事

安曇野市長

エムケー精工株式会社
代表取締役社長

阿部 守一

太田 寛

丸山 将一

女性から選ばれる長野県を目指すリーダーの会

行動宣言

私は、多様なライフスタイルを尊重し、誰もが自分らしく暮らし、働き続けることのできる魅力ある長野県づくりに向けて、女性の職業生活における活躍を推進する以下の取組を行うことを宣言します。

自組織内における取組

- 1 管理職に占める女性の割合を令和 15 年度までに 20%以上へ引き上げます。
- 2 配偶者出産休暇及び出産補助休暇を取得した男性職員の割合を令和 10 年度までに 80%以上へ引き上げます。
- 3 男性の育児休業の取得を令和 10 年度までに 50%へ引き上げます。
- 4 職員誰もが働きやすい職場環境づくりのため、職員の年休平均取得率を前年度以上、職員一人当たりの平均超過勤務時間を前年度未満に抑えることを目指します。
- 5 育児や介護等に係る制度の周知を図り、研修や OJT を通じて、心理的安全性の高い、働きやすい職場環境を目指します。

会のメンバー拡大に向けた取組

- 1 地域において市役所が率先して男女共同参画の目標を掲げ、その取り組みをホームページや SNS によって積極的に発信します。
- 2 企業や住民に向けた、女性活躍やワーク・ライフ・バランス推進のためのセミナー等の開催、ホームページ、チラシ等による情報発信を行い、啓発を図ります。

令和5年9月14日

(企業・法人等名) 小諸市

(役 職) 市長

(氏 名) 小泉 俊博